



NURTURING TOMORROW

EUROPEAN UNION EXPO 2025 OSAKA



EU コミッショナー＝ジェネラル ジャン＝エリック・パケ氏に会う



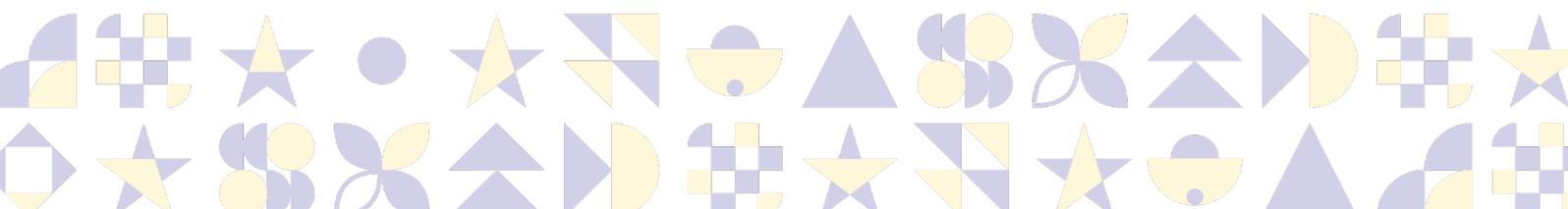
2025 大阪・関西万博における欧州連合 (EU) の政府代表として、ジャン＝エリック・パケ駐日大使は、EU の参加全体を統括する重要な役割を担っています。彼の指導のもと、EU は 2025 大阪・関西万博を通じて、欧州と日本を結ぶ共通の価値観やイノベーションを発信し、特に持続可能性、コネクティビティ、グリーン・トランジション(環境配慮型移行)に焦点を当てた展示を行います。

ジャン＝エリック・パケ氏は、2022 年より駐日欧州連合 (EU) 大使を務めています。欧州委員会での輝かしい経歴を持ち、研究・イノベーション、交通インフラ、持続可能性などの分野で EU の主要政策の形成に貢献してきました。

また、パケ氏は 2025 大阪・関西万博の意義を深く理解し、成功に向けて主要パートナーとの連携を積極的に進めています。「2025 大阪・関西万博は、持続可能性、コネクティビティ、包摂性、安全性、そしてグリーン・トランジションを政策や行動の中心に据えた未来社会のデザインに向けた取り組みを示す、素晴らしい機会です」と熱意を込めて語ります。

さらに、「『新欧州バウハウス』の原則—持続可能性、美学、包摂性に基づき、大阪・関西万博の EU パビリオンでは、より持続可能で、つながりのある、包摂的で安全な世界の実現に向けた EU の貢献を紹介します」と付け加えました。

パケ氏は、ヨーロッパの革新的な精神と、日本との協力を通じた未来の課題解決への取り組みを発信できることを楽しみにしています。



EU の 2025 大阪・関西万博における存在感

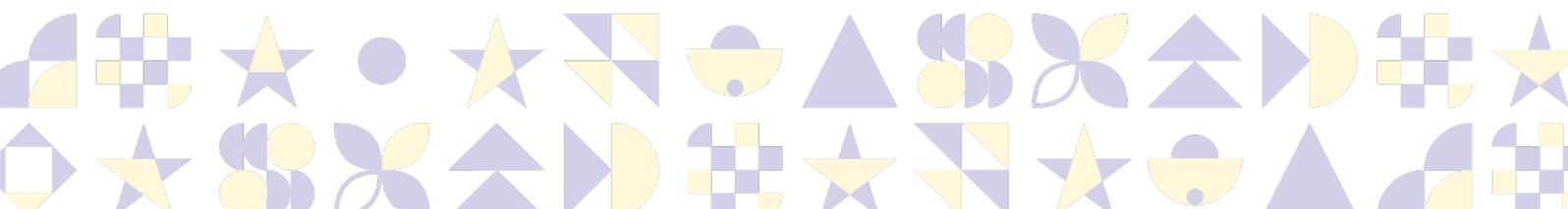
2025 大阪・関西万博の EU パビリオンに足を踏み入ると、政策交換、文化対話、そして私たちの社会の未来についての重要な議論が行われる活気あるフォーラムに入ることになります。しかし、このパビリオンは単なる文化対話の場ではなく、持続可能性、コネクティビティ、包摂性、そして安全性を通じて、より良い未来を築くという EU のコミットメントを象徴するものです。EU パビリオンのテーマは「未来を育む (Nurturing Tomorrow)」であり、これらの決意を実現するための取り組みを紹介しています。



EU と日本は強力なパートナーシップを築いており、平和、民主主義、そして気候変動、デジタルトランスフォーメーション、食糧安全保障といった地球規模の課題への解決策の推進に共に取り組んでいます。このパビリオンでは、EU と日本の深い政治的、経済的、文化的つながりを強調し、これらの協力をしっかりと紹介しています。

2025 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に沿って、EU の存在感は「新欧州バウハウス」の指針となる原則を反映しています。

- **持続可能性** - 環境への影響を最小限に抑えるために、エコフレンドリーな素材を取り入れ、適応可能なデザインを採用。
- **美しさ** - 欧州と日本の感性にインスパイアされたこのパビリオンは、伝統と革新を融合させ、ユニークな建築体験を提供します。
- **包摂性** - すべての来場者が楽しめるよう、スペースは完全にアクセシブルで設計されています。



新欧州バウハウスは、手頃な価格の住宅、バイオベースの素材、テキスタイルなどの分野でのプロジェクトを通じて、世界中の地域でイノベーションと創造性を引き起こしています。

没入感のある展示、インタラクティブなインスタレーション、そして意義のある文化交流を通じて、2025 大阪・関西万博における EU の存在感は、より持続可能で包括的な未来を共に創造するよう、世界に呼びかけています。

外観

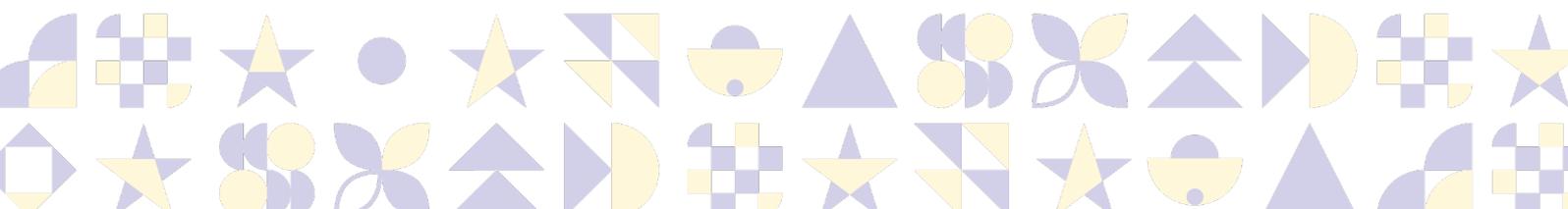
EU パビリオンの外観は、持続可能性、美学、イノベーションを組み合わせたダイナミックで変化し続けるデザインで、新欧州バウハウスの価値観を反映しています。

日本の絵馬や折り紙の精密さからインスパイアを受けたこの外観は、回転する花びらのようなモジュールで構成され、持続可能な竹を素材として使用しています。



この素材は、耐久性、軽さ、環境性能に優れており、自然な風の動きに合わせて、桜の花の優雅な動きを模倣します。これにより、EU のテーマである「明日を育む (Nurturing Tomorrow)」が生き生きと表現されます。

外観は、生きた適応可能な表面として機能し、2025 大阪・関西万博を通じて変化し、色やパターンが異なるイベントやテーマを反映します。昼間は、その軽量の構造が自然光と影を巧みに操り、夜間は、動的な LED 照明がその鮮やかさを一層引き立てます。



そのモジュール式で再利用可能なデザインは、環境への影響を最小限に抑え、EUの持続可能性と循環型経済への取り組みと一致しています。EUパビリオンのファサードは単なる装飾ではなく、インタラクティブな体験であり、来場者がその動きに触れ、2025大阪・関西万博の中心である共創と創造性の精神を探求するよう招いています。

ヨーロッパの扉を開けて

パビリオン内に足を踏み入ると、自然と調和した屋外の魅力を感じさせる空間が広がり、来場者を迎え入れます。構造物には持続可能で自然な素材が使用されており、各展示エリアに独自で魅力的な特徴を与えています。

「しゃべる」植物



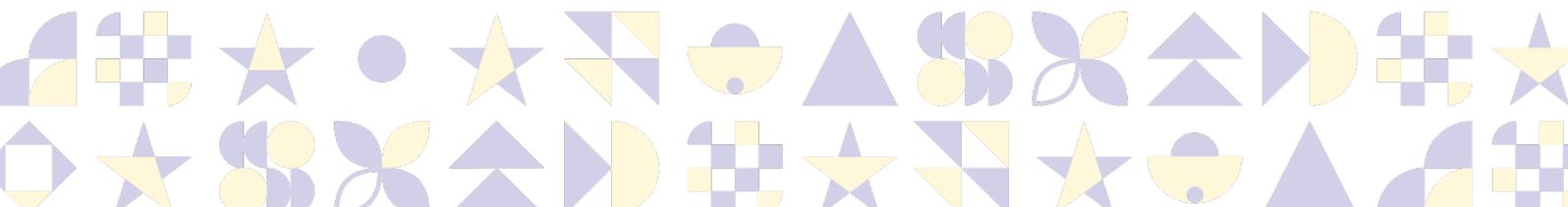
デジタル植物に触れると、そのバーチャルな双子が成長し、EUの持続可能な農業、食品安全、グリーンアライアンスに関する興味深い情報が明らかになります。

グリーンシティ



「人々に力を与える(Empowering People)」エリアでは、EUのエネルギー、農業、グリーンシティについて学ぶことができます。

- リュブリャナ(スロヴェニア): 欧州グリーン首都賞 2016年受賞
- ビトリア=ガステイス(スペイン): 欧州グリーン首都賞 2012年受賞
- ラハティ(フィンランド): 欧州グリーン首都賞 2021年受賞
- グルノーブル(フランス): 欧州グリーン首都賞 2022年受賞
- タリン(エストニア): 欧州グリーン首都賞 2023年受賞
- コペンハーゲン(デンマーク): 欧州グリーン首藤賞 2014年受賞



ハイテクで未来的な空間では、欧州の科学技術に焦点を当て、最先端の技術を紹介します。一方、「命を守る(Protecting Lives)」エリアでは、EUの公衆衛生、人道援助、環境保護に関する取り組みについて学ぶことができます。

2025 大阪・関西万博における EU パビリオンは、単なる展示にとどまらず、発見、対話、交流の場となっています。来館者は、次のような体験をすることができます。

禅の庭



双方向型ロボットが禅庭園を手入れし、砂の中に模様を描きながら、来場者を日本と英語で迎え、平穏なひとときを提供します。

双方向型フォトスポット

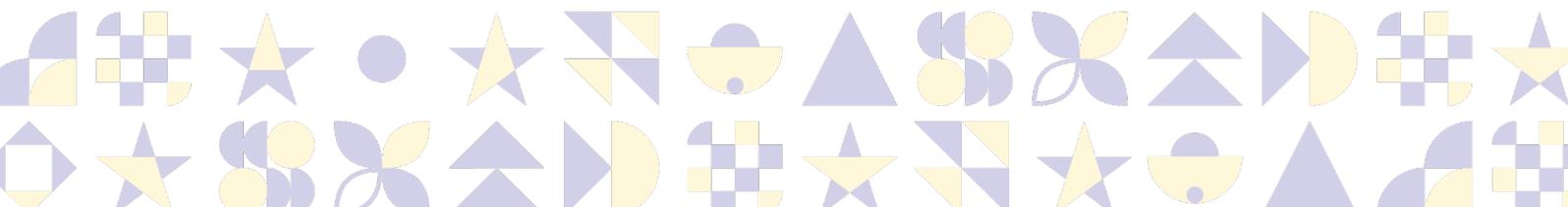


欧州の象徴的な場所で拡張現実を使った写真を撮影し、欧州への渡航について学ぶことができます。

デジタル折り紙



日本の折り紙文化にインスパイアされ、デジタルの鳩を折り、そのインスタレーションに放つことで、希望と協力を象徴します。



日本・EU 関係に関するクイズ



来館者は、EU と日本の強力なパートナーシップについての知識を試すことができます。

過去の万博における EU の参加

EU は 60 年以上にわたり世界万博に参加しており、この機会を活用して革新、持続可能性、文化交流への取り組みを展示してきました。

1958 年のブリュッセルから 2025 年の大阪まで、各万博は EU が世界舞台で進歩、協力、そして国際的な関与の独自のビジョンを共有するためのプラットフォームを提供してきました。

この参加は年々進化しており、EU はその成長と共に直面する課題の変化に対応しています。

過去の万博のハイライト

1958 年

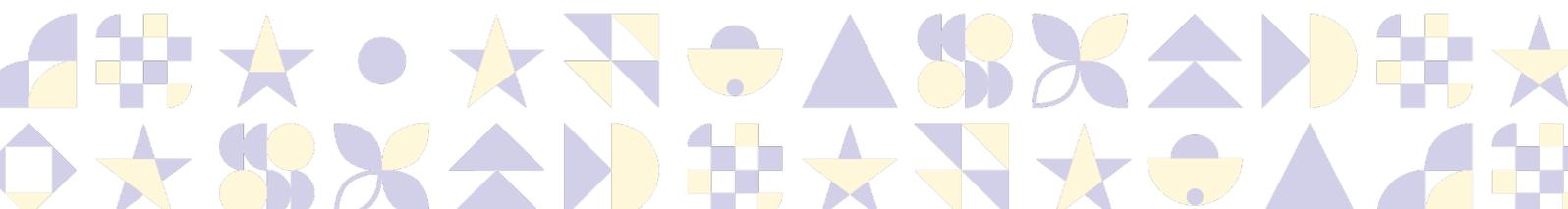
Expo '58 (ブリュッセル、ベルギー) - 「科学文明とヒューマニズム」

EU (欧州石炭鋼鉄共同体としての最初の形態) が初めて万博に参加し、600 万人の訪問者を迎えました。

1962 年

Century 21 Exposition (シアトル、アメリカ) - 「宇宙時代の人類」

アメリカのシアトルで開催された万博で、9 月 23 日から 27 日の 5 日間、欧州経済共同体 (後の EU) の 6 つの創設加盟国 (ベルギー、ドイツ、フランス、ルクセンブルク、イタリア、オランダ) の祝典が行われました。



EEC パビリオンでは、リーダーシップ、歴史、目標、そして共同体の構造を紹介し、訪問者はその文化、工学、産業に関するプロジェクトのモデルを通じて EEC について学ぶことができました。

1967 年

Expo '67 (モントリオール、カナダ) - 「人間とその世界」

EEC パビリオンは、ヨーロッパとカナダの建築家によってデザインされ、ダイヤモンドの形をしており、その面がヨーロッパの多様性と団結を象徴していました。鋼鉄製で、EEC の起源である欧州石炭鋼鉄共同体への敬意を表しました。「6 つの国々が共に生きることを決めた」というタイトルのもと、フランドルタペストリー、マインツの中世の街並み、グーテンベルク聖書、クラシックおよび現代ヨーロッパの記録を展示しました。

1970 年

Expo '70 (大阪、日本) - 「人類の進歩と調和」

24 メートルの地下の光の構造と、絵画された陶器で飾られた屋上庭園を持つ EEC パビリオンでは、2000 年にわたるヨーロッパの歴史を展示しました。この「旅」は第二次世界大戦の終結と EU の誕生を迎え、国際的な対立を越えた平和と団結の勝利を祝いました。訪問者は、パビリオン内で 2000 枚の写真を使った 8 分間の視覚・音響プレゼンテーション「平和のための想像」を楽しむことができました。

1992 年

Expo '92 Sevilla (セビリア、スペイン) - 「発見の時代」

この万博は、各加盟国が独自のパビリオンを持つ初めての万博となりました。多様性の中での団結を示すため、EEC 加盟国 12 か国のパビリオンは帆で結ばれ、EEC 自身のパビリオン（ドイツの建築家カーステン・クレブスによってデザインされた、加盟国の旗の色を取り入れた高さ 50 メートルの円錐形）を中心に配置されました。総合テーマ「ルネサンスのヨーロッパからヨーロッパのルネサンスへ」のもと、EEC パビリオンのハイライトの一つは、欧州の高精細テレビのデモンストラーションでした。

2000 年

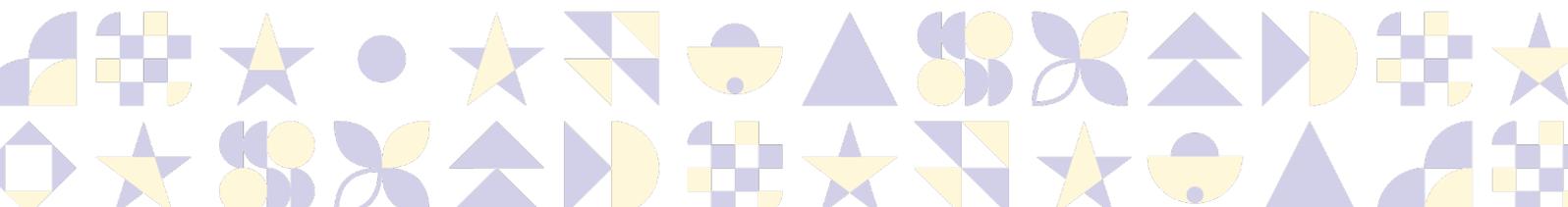
Expo 2000 (ハノーバー、ドイツ) - 「人間 - 自然 - 技術」

「欧州の旅：新しい千年紀へ」というテーマのもと、EU パビリオンは持続可能性と補完性に焦点を当て、情報時代の利点と課題を特に強調しました。建築家リップスマイヤー + パートナーによってデザインされ、パビリオンには三次元の時間シャトル、大きな回転するユーロコイン型エレベーター、そして「ヨーロッパの音のアトラス」などの展示がありました。

2010 年

Expo 2010 上海 (上海、中国) - 「よりよい都市、よりよい生活」

脳細胞の形をした EU パビリオン（加盟国ベルギーと共同開催）は、ベルギーと EU が文明にどのように貢献してきたかを探求しました。実際のチョコレート工場を展示し、訪問者にベルギーのチ



チョコレート作りの過程を見せ、ベルギーワッフルやフライドポテトを楽しむ機会を提供しました。この EU パビリオンは約 700 万人の来場者を引き寄せました。

2015 年

Expo 2015(ミラノ、イタリア) – 「地球に食料を、生命に エネルギーを(Feeding the Planet, Energy for Life)」

食料へのアクセスとその他の食料に関連するグローバルな問題に焦点を当てたこの万博において、EU パビリオンの中心には全加盟国に共通する主食である小麦がありました。訪問者は、EU 制作の短編映画『La Spiga d' Oro』(金の穂)を楽しみ、農業と科学の結びつき、そして世界中で食料アクセスを改善するための国際的な協力の重要性を紹介しました。

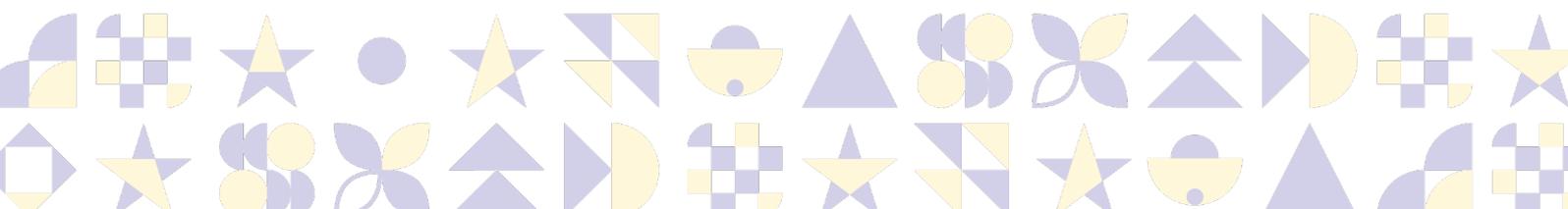
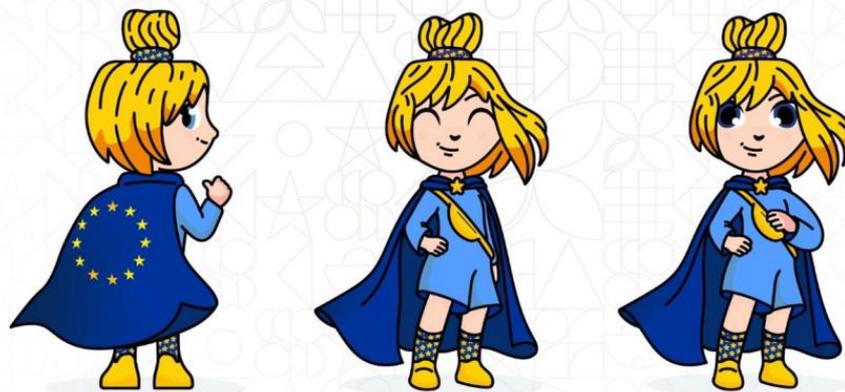
2020 年

Expo 2020(ドバイ、UAE) – 「心をつなぎ、未来を創る」

EU が主催したディスカッションやイベントでは、移動性、機会、持続可能性に関する EU の政策やプログラムが紹介されました。これには、2050 年までのカーボンニュートラル欧州を目指す欧州グリーンディールや、2030 年までに欧州のデジタルトランジションを完了させることを目指すデジタル 10 年計画、農業、包摂性、平等、革新、経済に関連する取り組みも含まれていました。

ハイライト

パビリオン公式マスコット「エウロパ」



大阪で EU を発見する来場者は、EU 旗をまとったキャラクターに出会うことでしょう。こちらが、2025 大阪・関西万博での EU の公式マスコット「エウロパ」です。エウロパは、欧州の精神、価値観、未来に対するビジョンを具現化した存在であり、団結、自由、創造性、持続可能性のシンボルです。

エウロパという名前は、ギリシャ神話の王女に由来しており、その王女がヨーロッパ大陸に名前を与えたとされています。彼女の色は EU 旗からインスパイアされ、スタイルは日本から影響を受けています。EU の象徴的な青を基調とした、マンガ風の衣装を身にまとい、自信、信頼、誠実を表現し、黄色は喜びとエネルギーを象徴しています。コートには EU の金色の星々が飾られ、欧州の人々の団結や連帯、調和を表現しています。

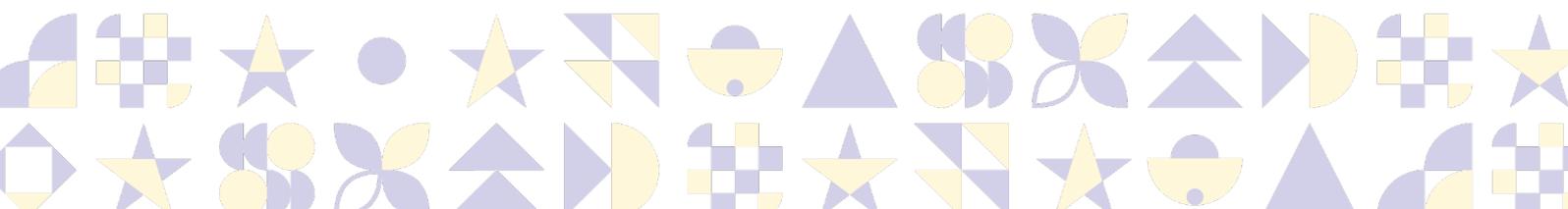
大胆で勇敢、そして元気なヨーロッパは、世界中を飛び回り、各国の EU 代表部を訪れながら、最終目的地である大阪へと向かいました。日本では、2025 大阪・関西万博の訪問者たちに EU と共に、より持続可能でつながりのある、包括的で安全な世界を実現するために協力しようと呼びかけます。

ヨーロッパデザインの最高峰



2024 年秋、2025 大阪・関西万博での EU パビリオン公式ユニフォームのデザインを決めるために、EU 全域でコンペティションが開催されました。このコンペには、ヨーロッパ中の学生たちから多大な関心が寄せられました。若手デザイナーにとって、国際的な舞台で才能を披露するユニークな機会であり、優勝者には大阪への旅行と、さらに日本の若手デザイナーとの交流、そして何より、2025 大阪・関西万博の公式 EU ユニフォームとしてそのコンセプトを実現するチャンスが与えられました。

多くの応募作品の中から 1 つを選ぶのは非常に難しかったものの、スロバキアのトマーシュ・マリニャーク氏が 12 月に選ばれ、EU を代表するデザインが決定しました。



受賞が発表された後、マリニャーク氏は著名な日本のデザイナー、森永邦彦（ファッションブランド ANREALAGE の創設者）の指導のもと、数ヶ月にわたって自分のオリジナルデザインを改善し、完成させました。

2025 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」と EU の「未来を育む (Nurturing Tomorrow)」にインスピレーションを受け、EU の精神と新欧州バウハウスの価値を体現したデザインは、見た目には美しいだけでなく、持続可能で包摂的でもあります。

性別、体型、色調に中立的で、ボタндаウンのデニムベスト、ニットポロシャツ、ハイウエストのデニムパンツからなる公式ユニフォームは、形と機能の両方を兼ね備えた先進的な生産技術と認証済みの持続可能な生地を使用しています。その軽量で通気性のある 3D パターンの生地（100%コットン製）は、どんな天候でも快適に着用でき、どんな体型にもフィットするリラックスしたシルエットを提供します。ユニフォームには、EU から着想を得た模様や記号をブロードで手刺繍することで、オーダーメイドのような風合いが加わり、「未来的な永遠性」というマリニャーク氏の言葉を形にした、EUらしさが際立つデザインとなっています。

マリニャーク氏のデザインは、環境に優しい素材を使用し、全生産工程が EU 域内で行われていることです。彼の出身地であるスロヴァキアと、彼が現在チェコ・プラハで学んでいることに敬意を込めて、ユニフォームはチェコから調達された生地を使い、スロヴァキアで手縫いされています。

ヨーロッパの日 - 2025 年 5 月 9 日 (金)

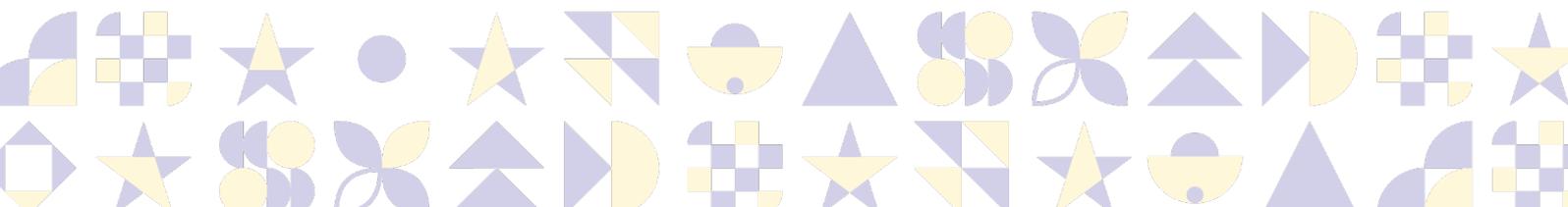
ヨーロッパの特別な日にぜひご参加ください！1950 年 5 月 9 日、フランスの外務大臣ロベール・シューマンは、欧州諸国に欧州連合の始まりとされる共同体への参加を呼びかけました。彼の目的は、ヨーロッパ諸国間の戦争をなくすことでした。75 年後、EU は 2025 年大阪万博で祝賀の日を開催し、メディア全てを招待します。

EU の核心価値である「団結」「連帯」「多様性」に基づき、ヨーロッパの日は、EU とその加盟国によるさまざまなイニシアチブやパフォーマンスが一日を通して紹介されるプログラムを提供します。

ヨーロッパの日は、来場者にヨーロッパの豊かな文化と多様性を祝うユニークな旅へご招待します。来場者は各国のパビリオンと交流し、エンターテイメント、教育、文化交流が織り交ぜられた活気ある体験を通じて 5 つのテーマに基づいた一連のユニークな活動をお楽しみいただけます。

- **ヨーロッパの味**

試食、ライブクッキングデモンストレーション、象徴的な料理や飲み物の紹介。伝統的なレシピから現代的な料理の革新に至るまで、ヨーロッパが世界的なガストロノミーのリーダーである理由を味わいながら体験します。



- **ヨーロッパの物語(子ども向け企画)**

物語のセッション、ワークショップ、インタラクティブな展示を通じて、ヨーロッパの民間伝承を発見し、想像力をかき立てます。

- **ヨーロッパの動き**

EU 映画祭 x ヨーロッパアニメーション映画祭からのショートフィルムを通じて、ヨーロッパアニメーションの創造的な世界に飛び込むとともに、業界の先駆者(例:滞在アニメーター)と出会う機会があります。

- **スタイルと革新**

パビリオンのユニフォーム、マスコット、先端的なデザインと象徴的なファッションを通じて、ヨーロッパのスタイルに対するセンスを体験します。

- **多様性の中の団結**

各国のパビリオンのテーマに反映されたヨーロッパ各国の文化遺産を探索し、伝統と革新が融合した世界を体験します。

一日を通して、スタンプラリーが来場者にすべての欧州パビリオンを巡り、パスポートにスタンプを集めるよう促します。これにより、充実感のあるインタラクティブな冒険が生まれます。参加しているすべてのパビリオンを探索することで、この取り組みは団結感と共に発見の喜びを共有し、来場者に欧州連合およびその加盟国とのより深いつながりを感じさせます。

公式イベントは、国民の日ホール「レイガーデン」、EU および加盟国のパビリオン、Expo 会場の公共エリアで行われます。

プログラム

公式式典

11:00 - 12:00

EXPO ナショナルデーホール「レイガーデン」

招待制

公式昼食&パビリオン訪問

12:15 - 15:15

ゲストハウス

日本パビリオン&EU パビリオン

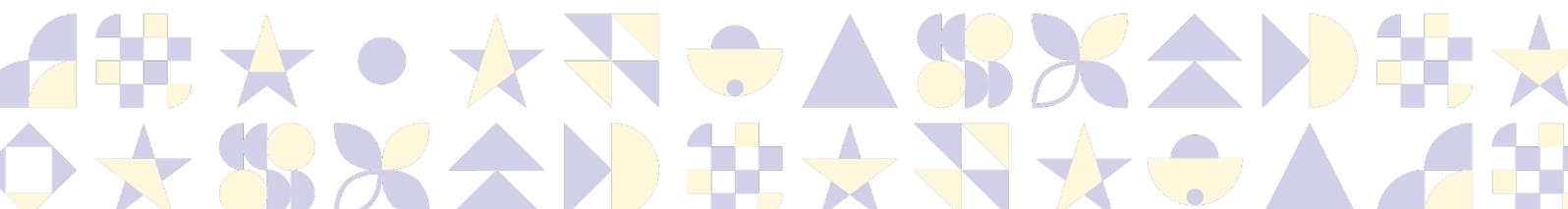
招待制

EU デイ - パフォーマンスショー

15:15 - 19:30

EXPO ナショナルデーホール「レイガーデン」

公開イベント



EU デイ祝賀会
終日
EU パビリオン
加盟国パビリオン
いのちの遊び場 クラゲ館
公開イベント

パフォーマンスには以下が含まれます。

- Pianographique(ピアノグラフィック)
視覚芸術家コリ・オ・ランとピアニスト滑川真希が共演するアース・エレクトロニカのコラボレーション。音楽が動的なリアルタイム画像を生成するトリガーとして使用され、観客を音の視覚的風景に没入させます。このプログラムでは、久石譲によって作曲された新しい音楽が初演されます。日本とヨーロッパの文化と伝統が高度な技術と融合し、未来の音楽の体験を提供します。
- Breath(ブレス)
グロリア・ベネディクトによる現代的なマルチメディアダンスパフォーマンス。呼吸という視点から人間の状況を掘り下げ、私たちが作り上げた生態的、生物的、社会的システムがどのように人間にとって基本的な必要性を制約しているのか、すべての人間をつなげる呼吸の重要性を描きます。
- DJ セット
Krikor Kouchian と MAYUDEPTH(エレクトロ、テクノ)によるバック・トゥ・バック DJ セット。ジャクソン・カキと山路真介のオリジナル作品でセットが補完され、音楽と視覚芸術が交差する現代的なパフォーマンスが生まれます。
- 欧州連合ユースオーケストラ
EU 加盟 27 国から集まったメンバーで構成されるユースオーケストラ。1976 年に創設されて以来、音楽学校とプロの音楽世界をつなぐ橋渡しをしてきました。ブラス・クインテットが EU パレードとともに行進し、訪問パビリオンを回ります。

